



「優良活動団体」に選ばれ受賞！



～平成26年度「認知症サポーターキャラバン報告会」～

当社は、2015年1月31日に砂防会館で開催された「平成26年度 認知症サポーターキャラバン報告会」において「優良活動団体」に選ばれ、表彰を受けました。

「認知症サポーター」は、厚生労働省が2005年から導入している制度で、「認知症について正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守る応援者」のことで。当社では、全店でこの取組みに参加し、半年間で1,257名が「認知症サポーター」に認定されました。



この全社を挙げた取組みが、「認知症サポーター」を推進する「全国キャラバン・メイト連絡協議会」から高く評価され、栄えある受賞に輝きました。選ばれたのは、全国でわずか3団体、企業では当社だけという極めて価値ある受賞となりました。

表彰式では、全国キャラバン・メイト連絡協議会の若杉推進委員長から遠藤社長に表彰状が授与され、遠藤社長が謝辞を述べました。



報告会では、戦略プロジェクト室・野津室長から「優良活動の実践事例」として報告を行いました。

当社では、これから地域との連携をより一層深め、取組みの強化をはかっていきます。



【選考結果の要旨】 —「平成26年度 認知症サポーターキャラバン報告会」資料より—

社長をはじめとする役員がキャラバン・メイトとなり、認知症を学ぶ重要性を全体的に共有した結果、半年余りの期間に全国の全職員・認知症サポーター養成を達成している。

認知症サポーターとなった職員が最寄りの地域包括支援センターとの連携を図り、地域の他企業へ認知症サポーターに関する情報提供するなど、業務を通して積極的に身近な地域で知識を生かした見守り等の支援に結びつく活動を実践している。全国の各拠点、支店での取組みを本社事務局が常に把握し、双方向に情報発信を行うことにより、効率的に「学び」から「アクション」へと発展させる手法が確立されている。

